

宮城県文化振興財団創立30周年記念

笑いの芸術

野村万作・萬齋

狂言公演

「棒縛」野村萬齋



解説 高野 和憲

狂言 墨塗 すみぬり	大名 石田 幸雄 太郎冠者 深田 博治 女 中村 修一 後見 飯田 豪
狂言 魚説法 うおせっぽう	新発意 野村 万作 施主 内藤 連 後見 高野 和憲
狂言 棒縛 ぼうしばり	太郎冠者 野村 萬齋 主 月崎 晴夫 次郎冠者 野村 太一郎 後見 中村 修一

※出演者は予告なく変更になる場合がございます。

「魚説法」野村万作



「墨塗」石田幸雄



とき 令和5年 10月27日(金)
開場 午後6時 開演 午後7時
ところ 東京エレクトロンホール宮城



人間国宝 野村万作 野村萬齋 石田幸雄

入場料

全席指定 S席 5,500円(税込み) A席 4,500円(税込み) 学生席 1,500円(税込み)
前売券発売日 令和5年7月21日(金)午前10時~

※学生席は東京エレクトロンホール宮城のみでの販売となります。ご購入時学生証をご提示ください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド

藤崎、仙台三越、東京エレクトロンホール宮城、河北チケットセンター022(211)1189【電話受付のみ 平日午前10時~午後2時】、チケットぴあ(Pコード 520-292)、ローソンチケット(Lコード 22024)

お問い合わせ

東京エレクトロンホール宮城・TEL022(225)8641 河北新報社 事業部・TEL022(211)1332【平日午前10時~午後5時】

※東京エレクトロンホール宮城では、インターネット・電話予約を受付ております。チケットは、最寄りのセブンイレブン又は東京エレクトロンホール宮城の事務室窓口でお引き取りいただけます。(https://miyagi-hall.jp/)

主催

公益財団法人宮城県文化振興財団
河北新報社

共催



みやぎ県民文化創造の祭典
実行委員会

※マスクの着用等基本的な感染対策に御協力いただく場合がございます。

狂言

墨塗

(すみぬり)

訴訟のために遠国から都にやって来ていた大名が、無事解決したので帰郷することになり、太郎冠者を連れて都でなじみになった女の元に別れを告げに出かける。話を聞いた女は悲しげに涙を流すが、実は鬢水入れの水で目を濡らして泣き真似をしていた！それを見抜いた太郎冠者は大名に知らせるのだが、大名は信じようとしない。そこで太郎冠者は機転を利かせて…。

「平中物語」などに見える古来の説話を素材にした狂言です。古今東西変わらない、男と女の「化かし合い」。結末は如何に？

狂言

魚説法

(うおぜっぽう)

堂を建立した施主が、堂供養を頼もうと寺を訪ねる。しかし住持が留守のため、留守番の新発意(しんぼち・出家して間もない修行中の僧)が説法を頼まれる。お布施欲しさに引き受けた新発意だが、実は一度も説法をしたことがない。子供の頃浜辺に住んでいた新発意は、知っている魚の名前を連ねてごまかすことにする。いよいよ説法が始まるが…。

みごとに魚の名が織り込まれた説法が聞きどころです。洒落の効いた言葉遊びが楽しい狂言です。

狂言

棒縛

(ぼうしばり)

二人の家来が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでいると知った主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまう。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞り、縛られたまま酒を飲むことについて成功する。酔った二人が謡えや舞えやと大騒ぎしていると…。

自由の利かない手で酒蔵の戸を開けたり、舞を舞ったりと、遊び心に裏付けられた自由さがある作品です。観ているこちらにも心楽しくなれる、狂言の代表作の一つです。

主な出演者の紹介

野村 万作

のむら まんさく



1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で、国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャンソンサエティ賞等、多数の受賞歴を持つ。02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。練馬区名誉区民。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『法螺侍』『敦一山月記・名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社rブックス)、『狂言を生きる』(朝日出版社)等。練馬文化センター名誉館長。

野村 萬斎

のむら まんさい



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、『敦一山月記・名人伝』『マクベス』『子午線の祀り』『能 狂言『鬼滅の刃』『ハムレット』はじめ古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞等受賞多数。21年観世寿夫記念法政大学能楽賞、22年松尾芸能大賞受賞。石川県立音楽堂邦楽監督、東京芸術大学客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。

石田 幸雄

いしだ ゆきお



1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞、11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより『敦一山月記・名人伝』『国盗人』(野村萬斎演出)など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

笑いの芸術「野村万作・萬斎 狂言公演」プレセミナー

日時

令和5年

10月13日(金)

午後6時30分～午後7時30分(開場:午後5時30分)

会場

東京エレクトロンホール宮城
6階601大会議室

講師：万作の会 石田 幸雄

上演される演目の内容や狂言の歴史等について知識を深め、日本の古典芸能に親しんでいただくことを目的としたセミナーです。

受講料

全席自由

500円

受講定員 / 100名程度

募集期間 / 令和5年7月21日(金)～定員になり次第受付終了

申込み方法 / 東京エレクトロンホール宮城窓口のみで販売(受講券発行)